

陸生ホタル研

No.153

2026年5月9日

陸生ホタル生態研究会

電話/FAX: 042-663-5130

Em:rikuseihotaru.07@jasmine.ocn.ne.jp

台風19号大災害から7年経過

板当沢林道のその後と林道の現在の状況

小俣軍平

1 はじめに

調査月報107号で、八王子市上恩方町板当沢の台風災害の惨状について報告してきました。あれから早くも7年の歳月がながれました。そこで、この5月3日にその後の林道の自然環境の復活について調査をしました。以下その報告です。

1: 図 入口の北浅川にかかる板当沢橋かけ替えられて立派になりました。



2: 図橋の上流部 護岸もがっちり復旧しています。



3：図 橋の下流の状況 良好ですがゲンジの姿はまだ見られません。



4：図 100m かつて夏の夜クロマド幼虫が発光しながら毎晩渡っていた橋。変わりなし。



4：図入口から 200m地点の状況 右側法面良好です。



5：図 4：図の左側流れの状況 土砂は積っています。



6：図 250 m地点の状況杉の木が大きく成長しました。



7：図 300 m地点ここから奥に唯一の支流があります。



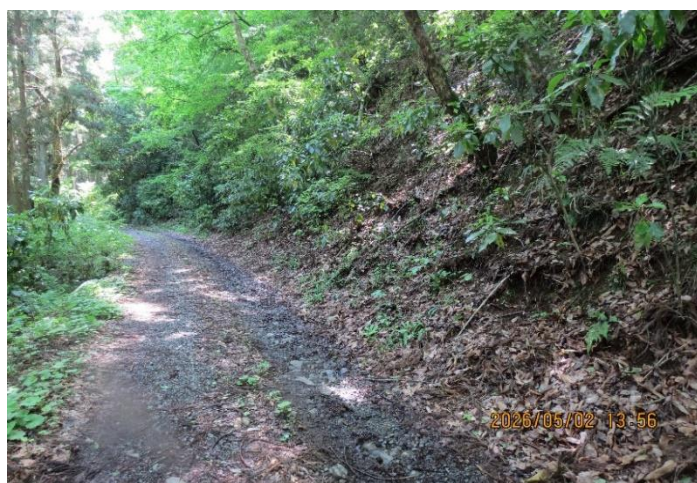
8 : 図 7 : 図の左側下の流れの状況 ナガレタゴガエルは消滅。



8 : 図 400m地点の状況 一般の車はここ迄です。



9 : 図 8 : 図の山側の斜面の状況昔の姿にもどりました。



10：図 500m地点変わりなし。昔のように法面は落ち葉が降り積もっています。



11：図 10 図を上流部から見た状況 良好です。



12：図 600m地点 昔と変わらず法面の落ち葉は15cmも積もっています。



13：図 600m 地点から 700m地点を見た状況、変りなし。



14：図 650m、地面が災害対策で舗装されています。



15：図 700m 地点 当時右側法面にクロマド幼虫がたくさん見られた場所です。



16：図 右側の法面（流れまで30m）に崩落が起きて修復工事がありました。



17：図 夏の間、楓の木にクロマド幼虫が昇って夜間発光していました。



18：図 17：図の右側法面に タヌキの降りてくるけもの道がありました。



19：図 850m地点から見た900m地点 変わりなし。



20：図 中間点（900m）のゲイトです。変わりなし。



21：図 1000m地点、大災害の土砂はきれいに搬出され修復されています。



22：図 11000m 地点 右手、川底が上がって林道にあふれるので堤防ができました。



23：図 1200m 地点土砂は片付けられ昔の姿になりました。
右側メタセコイアの大木がまた一回りおおきくなりました。



24：図 1200m地点から見た 1300m 地点 変わりなし。



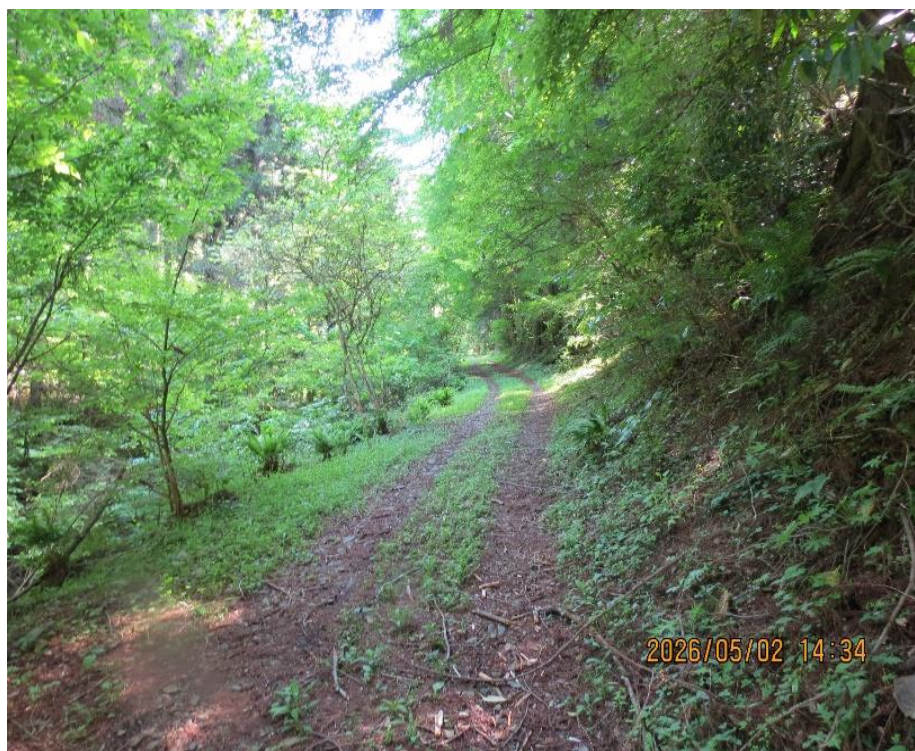
25：図 1300m 地点の川の状況 変わりなし。



26：図 1400m地点から見た 1500m地点の状況 良好。



27：図 1500m 地点から見た 1600m地点、安定しています。



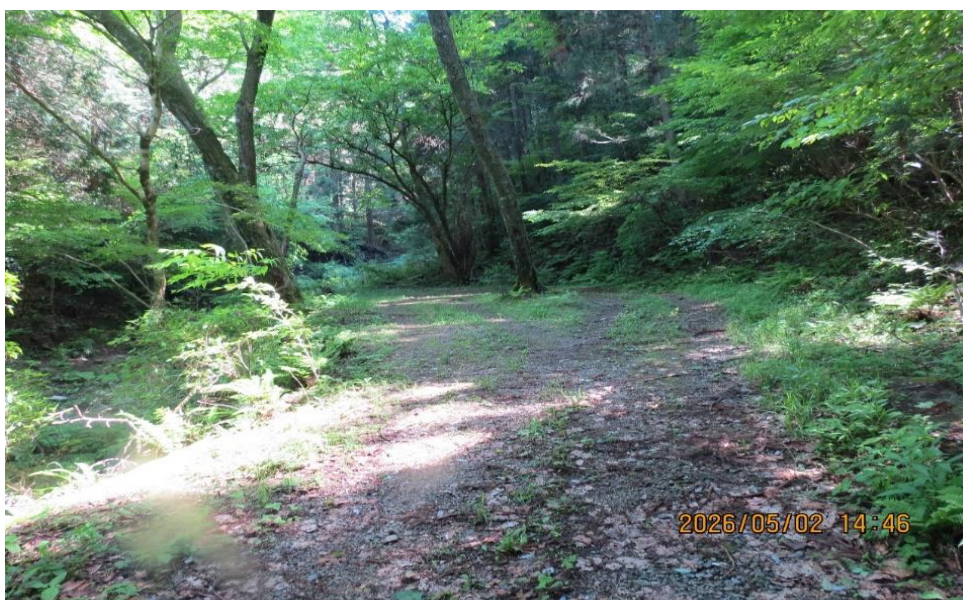
28：図 1600m地点 川の流れ落ち着いています。



29：図 1600m地点から1700m地点を見たところ変化なし。



30：図 林道の終点 立木は一回り大きくなりました。落ち着きました。



2：まとめ

以上、19号台風から7年後の板当沢林道の現状をざっと見てきました。御覧いただきましたように板当沢林道の台風で荒らされた状況は、見た目ではこの7年間ですっかり回復したように見えます。しかし、台風後この7年間には、別の問題として気象の面で国内ばかりか世界的な規模で起きている酷暑の問題があります。その影響もあるわけですので楽観はできないとおもいますが・・・・、好結果がみられますようにこの6月の羽化の季節の結果を祈るばかりです。

あとがき

板当沢林道でも書きましたが、この春もまた、世相は騒然としていて山林火災をはじめ、異常な事件が多発しています。今回は外されていましたが、今年は冬の間板当沢林道にも、熊の捕獲用鉄の檻が設置されていました。生物の生態調査は、無人の山野で、単独・少人数でおこなわれます。陸生ホタル研の会員の皆さん方、お怪我をなさいませんように、くれぐれもご注意下さい。

異常事態といえば、私は現職時代は小学校の教師でしたので、この春の小・中・高校の不登校児の数が全国で37万人・・・と、言われて大変驚いています。私が現職時代だった36年前のことですが、冬の日教組の教育研究集会で不登校児の数が1000人を超えて、「なぜこんなことに・・・」と、大問題になりました。

しかし、最近のこの数を見ますとその後、この問題は未解決のまま桁違いの規模で、拡大しつづけているのですね。新聞やテレビをみていますと、増え続けている数は報道しますがその原因についてはほとんど触れられていません。皆さん方の地元の小・中・高等学校ではいかがですか・・・。

6月、全国各地でゲンジボタルの羽化がはじまります。八王子市内の寺沢川で再確認されました、小型のゲンジボタル、小学生でも目で見えて確認できる課題ですので、会員のみなさん方ご当地の状況を調べて、陸生ホタル研の事務局までメールでお知らせ下さい。お願いします。